



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月20日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名）山中 昭廣
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員財務部長（氏名）加藤 明（TEL）（0587）37-2111
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月29日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年3月21日～平成23年6月20日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第1四半期	15,090	5.7	524	57.7	502	81.1	211	65.4
23年3月期第1四半期	14,273	-	332	-	277	-	128	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	6	03	-	-
23年3月期第1四半期	3	65	-	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	％	円	銭
24年3月期第1四半期	67,229	18,544	24.3	465	89
23年3月期	67,123	18,461	24.3	463	76

（参考）自己資本 24年3月期第1四半期 16,369百万円 23年3月期 16,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	-	-	4 00	4 00
24年3月期	-	-	-	-	-
24年3月期（予想）	-	-	-	4 00	4 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年3月21日～平成24年3月20日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
第2四半期（累計）	30,200	1.6	700	32.7	600	35.9	250	881.1	7	12
通期	57,000	1.8	800	36.5	700	30.5	300	-	8	54

（注）当四半期における業績予想の修正有無： 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 - 社（社名） 除外 - 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：有

以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	36,295,543株	23年3月期	36,295,543株
24年3月期1Q	1,160,495株	23年3月期	1,159,565株
24年3月期1Q	35,135,504株	23年3月期1Q	35,141,195株

四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関連する事項は2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報	２
（１）連結経営成績に関する定性的情報	２
（２）連結財政状態に関する定性的情報	２
（３）連結業績予想に関する定性的情報	２
２．その他の情報	３
（１）重要な子会社の異動の概要	３
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	３
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	３
３．四半期連結財務諸表	４
（１）四半期連結貸借対照表	４
（２）四半期連結損益計算書	６
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	７
（４）継続企業の前提に関する注記	８
（５）セグメント情報	８
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	９

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災が日本経済に大きな打撃を与え、一部に復興に向けた回復の兆しが見られるものの、原発事故に伴う電力供給の問題や、中東・北アフリカの政情不安による原油価格の高騰懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、５年～１０年先を見据え、自ら変革し続け、グループ力を結集して『経営基盤を強化する』をコンセプトに、当期を２年度目とする「石塚硝子グループ中期経営計画」（ＩＳＨＩＺＵＫＡイノベーション'78）の実行に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、震災による飲料水不足から容器需要が増加するなど、グループ全体の売上高は15,090百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。また、利益につきましては、諸資材価格の高騰がありましたが、売上の増加に加え、工程の見直しによる品質改善・業務の効率化によるコストダウン等により、営業利益は524百万円（前年同四半期比57.7%増）、経常利益は502百万円（前年同四半期比81.1%増）、四半期純利益は211百万円（前年同四半期比65.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガラスびん関連

ガラスびんは、震災の影響により一時的にびん容器の需要が増加し、当社においてはビールびんを中心にリターナブル・ボトルの出荷が増えたことなどから、売上高は4,864百万円となりました。

ハウスウェア関連

ハウスウェアは、一般家庭向けの売上が減少しましたが、企業向けでは昨年に引続き大型の景品受注を獲得し、中近東向けの輸出も増加したことなどから、売上高は2,705百万円となりました。

紙容器関連

紙容器は、東北地区における同業他社の生産工場が被災したことなどから、受注が大幅に増加し、売上高は2,619百万円となりました。

プラスチック容器関連

プラスチック容器は、プリフォームの軽量化に伴う販売単価の下落などがありましたが、大型２Ｌボトル用プリフォームの受注が大幅に増加し、売上高は4,011百万円となりました。

その他

アドバンストガラスは、北米向けの抗菌剤の出荷が引続き伸長しましたが、機器販売は各種食品検査機のうち容器関連以外の開発・販売を縮小・停止したことから減収となり、売上高は890百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ170百万円増加し、1,133百万円となりました。当第１四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、1,149百万円（前年同四半期は1,118百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益457百万円、減価償却費792百万円、仕入債務の増加452百万円によるものです。一方、資金減少の主な要因は、賞与引当金の減少340百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、803百万円（前年同四半期は506百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出651百万円、貸付けによる支出162百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、173百万円（前年同四半期は366百万円の資金減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、平成23年４月21日に公表しました業績予想に変更はありません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

１．四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益に影響はありませんが、税金等調整前四半期純利益は、18百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18百万円であります。

２．表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日 内閣府令第５号）の適用により、当第１四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 (平成23年６月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年３月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,933	1,763
受取手形及び売掛金	11,330	11,416
有価証券	100	100
商品及び製品	8,808	8,883
仕掛品	493	375
原材料及び貯蔵品	3,426	3,299
その他	1,281	1,266
貸倒引当金	32	33
流動資産合計	27,341	27,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,812	7,939
機械装置及び運搬具（純額）	7,565	7,705
土地	13,363	13,363
その他（純額）	2,591	2,450
有形固定資産合計	31,333	31,459
無形固定資産	26	26
投資その他の資産		
投資有価証券	4,618	4,563
その他	3,818	3,901
貸倒引当金	87	89
投資その他の資産合計	8,349	8,375
固定資産合計	39,709	39,861
繰延資産	179	190
資産合計	67,229	67,123

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 (平成23年６月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年３月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,137	5,684
短期借入金	12,497	11,883
１年内償還予定の社債	1,638	1,767
未払法人税等	62	86
賞与引当金	274	615
その他	4,588	4,511
流動負債合計	25,199	24,548
固定負債		
社債	8,850	9,259
長期借入金	4,560	4,595
退職給付引当金	3,920	3,972
役員退職慰労引当金	22	21
汚染負荷量引当金	599	609
負ののれん	104	166
その他	5,430	5,488
固定負債合計	23,486	24,113
負債合計	48,685	48,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	1,580	1,508
自己株式	268	267
株主資本合計	11,372	11,301
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	559	550
繰延ヘッジ損益	70	64
土地再評価差額金	4,507	4,507
評価・換算差額等合計	4,996	4,993
少数株主持分	2,175	2,166
純資産合計	18,544	18,461
負債純資産合計	67,229	67,123

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成22年３月21日 至 平成22年６月20日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成23年３月21日 至 平成23年６月20日)
売上高	14,273	15,090
売上原価	11,547	12,196
売上総利益	2,726	2,894
販売費及び一般管理費	2,393	2,369
営業利益	332	524
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	13	12
受取賃貸料	26	28
負ののれん償却額	44	61
その他	22	29
営業外収益合計	110	138
営業外費用		
支払利息	114	107
その他	51	53
営業外費用合計	165	161
経常利益	277	502
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	1	25
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	18
その他	-	0
特別損失合計	1	44
税金等調整前四半期純利益	276	457
法人税、住民税及び事業税	73	46
法人税等調整額	48	183
法人税等合計	121	229
少数株主損益調整前四半期純利益	-	228
少数株主利益	25	16
四半期純利益	128	211

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成22年３月21日 至 平成22年６月20日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成23年３月21日 至 平成23年６月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	276	457
減価償却費	800	792
負ののれん償却額	44	61
貸倒引当金の増減額（は減少）	10	2
賞与引当金の増減額（は減少）	214	340
退職給付引当金の増減額（は減少）	33	52
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	13	0
汚染負荷量引当金の増減額（は減少）	11	10
受取利息及び受取配当金	16	18
支払利息	114	107
有形及び無形固定資産除売却損益（は益）	11	25
売上債権の増減額（は増加）	1,681	75
たな卸資産の増減額（は増加）	162	169
仕入債務の増減額（は減少）	1,380	452
未払費用の増減額（は減少）	700	165
割引手形の増減額（は減少）	232	-
その他	70	71
小計	1,307	1,350
利息及び配当金の受取額	17	22
利息の支払額	123	131
法人税等の支払額	81	91
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,118	1,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	158	651
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	3	8
貸付けによる支出	358	162
貸付金の回収による収入	11	11
その他	1	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	506	803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	40	1,050
長期借入れによる収入	1,400	1,000
長期借入金の返済による支出	1,850	1,471
社債の発行による収入	508	-
社債の償還による支出	322	538
リース債務の返済による支出	35	72
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	105	140
少数株主への配当金の支払額	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	366	173
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	245	170
現金及び現金同等物の期首残高	1,644	963
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,889	1,133

(４) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(５) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第１四半期連結累計期間（自 平成22年３月21日 至 平成22年６月20日）

	ガラス容器 関連事業 (百万円)	他素材容器 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(１) 外部顧客に対する売上高	7,479	6,085	708	14,273	-	14,273
(２) セグメント間の内部売上 高又は振替高	159	207	76	443	(443)	-
計	7,639	6,292	785	14,717	(443)	14,273
営業利益又は営業損失 ()	157	208	31	334	(1)	332

(注) １．事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質等の類似性及び当社グループの損益集計区分を考慮して決定しております。

２．各事業の主要な製品

事業区分	主要製品
ガラス容器関連事業	洋雑酒びん、ビールびん、飲料水びん、食料調味料びん、コーヒーびん、牛乳びん、清酒びん、化粧品びん、薬びん、王冠、鉢皿類、コップ、貯蔵びん
他素材容器関連事業	紙容器、同容器に係る充填機械、ペットブリフォーム
その他の事業	抗菌剤、高強度ガラス、キャップ、ブロー成形機、検査機器

〔所在地別セグメント情報〕

前第１四半期連結累計期間（自 平成22年３月21日 至 平成22年６月20日）

本邦以外の国または地域に連結子会社及び在外支店は存在しないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第１四半期連結累計期間（自 平成22年３月21日 至 平成22年６月20日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ガラスびん・ハウスウェア・紙容器・プラスチック容器の製造・販売、並びにこれに関連した事業活動を展開しております。

したがって、当社は、これらの事業活動から「ガラスびん関連事業」・「ハウスウェア関連事業」・「紙容器関連事業」・「プラスチック容器関連事業」の４つを報告セグメントとしております。

「ガラスびん関連事業」は、ガラス製容器等を製造・販売しております。「ハウスウェア関連事業」は、ガラス製食器等を製造・販売しております。「紙容器関連事業」は、紙容器及び同容器に係わる充填機械を製造・販売しております。「プラスチック容器関連事業」は、ＰＥＴブリフォーム等を製造・販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間（自 平成23年３月21日 至 平成23年６月20日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	ガラスびん 関連	ハウスウェア 関連	紙容器関連	プラスチック 容器関連	計
売上高					
外部顧客への売上高	4,864	2,705	2,619	4,011	14,200
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	5	-	205	211
計	4,864	2,711	2,619	4,217	14,412
セグメント利益又は損失（ ）	50	104	191	180	526

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益 計算書計上額 （注）３
売上高				
外部顧客への売上高	890	15,090	-	15,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,443	1,655	1,655	-
計	2,334	16,746	1,655	15,090
セグメント利益又は損失（ ）	13	512	12	524

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（ ）の調整額12百万円には、セグメント間取引消去13百万円、たな卸資産の調整額 １百万円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。